

12月の園だより

令和7年11月28日

杉並区立西荻北子供園

園長 須田 なぎさ

地域と共に育つ子どもたち

園長 須田なぎさ

今年は、酷暑から急に冷え込み、紅葉が美しく色づきました。今はイチョウの葉も少しづつ黄金色に染まり、秋の深まりを感じます。



2学期は地域のお祭りがあり、子供園として作品を出展したり、PTAでお店をだしたりしました。

9月21日には、西荻南区民集会所で『ちびっこまつり2025』が開催されました。西荻地域区民センター協議会の皆様が実行委員会を立ち上げ、中心となって進めてくださるお祭りです。ゲームコーナーやワークショップ、焼き菓子販売などがあり、子供園からは「にしおぎ子どもアート展」に年長ぞう組の作品を展示しました。

11月8日には、桃井第三小学校で『こどもえんにち』が行われました。地域の方々のコーナーに加え、小学生が企画運営するコーナーもあり、親子連れや小学生で賑わいました。子供園はPTAの皆様にご協力いただき、ボール投げのお店を出店しました。

こうした地域のお祭りを通して、就学前施設や子育て支援団体、小学校PTAなど、多くの方々が地域の子育てを支えてくださっていることを実感します。

子どもたちも地域との交流活動を行いました。

10月16日には、杉並区こども発達センターにあるたんぽぽ園の3歳児グループが来園し、年少うさぎ組と一緒にホールで遊びました。ダンスや体操、歌遊びなどで、一緒に体を動かし楽しい時間をすごしました。

11月12日には、年中くま組が「ゆうゆう上荻窪館」を訪問し、高齢者の皆様と交流しました。「3びきのやぎのがらがらどん」のペーパーサートを見せていただき、くま組は歌「きのこ」を披露しました。振り付きの歌に大きな拍手と「かわいい！」の声をいただきました。「げんこつやまのたぬきさん」では参加者と一緒に遊び、緊張していた子どもたちも笑顔になりました。

11月14日には、年長ぞう組がベネッセ西荻窪保育園の年長チャレンジ組と交流しました。自己紹介や王様ジャンケン、ドッジボールを楽しみ、互いに闘志を燃やした試合は1勝1敗の引き分け。ゲームの展開もテンポよく、子どもたちの投げ方やよけ方に成長が見られました。

ぞう組はさらに小学校との交流も行っています。10月11日の運動会と11月27日の学芸会リハーサルを見学させてもらいました。小学生の姿に「すごい！」「かっこいい！」と憧れを抱き、自分たちも頑張ろうという気持ちにつながっています。

交流活動は、園生活に新しい刺激を与えてています。うさぎ組は、一緒に遊んだ「むっくりくまさん」をその後も繰り返し楽しんでいます。くま組は「3びきのやぎのがらがらどん」を劇ごっこで、やりたい役を自分で決めて繰り返し楽しみ、ぞう組は「ドッジボールをしよう！」と自発的に誘い合い、始めるようになりました。また、「〇〇小学校にいく」「ランドセルは何色？」という話題も出てきて、小学校への期待がふくらんでいます。

地域の方々との温かな関わりの中で、子どもたちは新しい出会いに心を動かし、遊びや憧れを通して成長しています。こうした経験は園生活を豊かにし、次のステップへの自信や楽しみにつながっています。これからも地域とともに歩み、子どもたちの成長を皆で喜び合える園でありたいと思います。